

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)  
2021年度(令和3年度)第3回臨時理事会 議事録

[1]開催:2021年7月8日(木)13:00~14:56

- ・方式:インターネット ウェブ会議/実会議方式の併用
- ・運営会場:Japan Sport Olympic Square7階708(新宿区霞ヶ丘町)

[2]出席(理事28名、監事1名):

岩城光英、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、山倉紀子、鈴木貴里代、和田知子、石井なおみ、上田藍、菊池日出子、齋藤れい、関根明子、原澤敦美、森幸、佐藤圭一、富川理充、村瀬訓生、山根英紀、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、川添勝、島津寿江、宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、宮城直久(以上、理事28名)。

荻原政吉(以上、監事)

- ・事務局出席(9名)坂田洋治、児玉健太、長江千明、土屋佳司、小池賢、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、島村直子

[3]議事の経過

JTU定款第6章(理事会)第34条(決議)により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、一時離席時の申告など進行上のお願いの後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条(議長)により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、同第23条(理事の職務及び権限)による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、定款第35条(議事録)により、岩城会長、萩原監事を議事録署名人、大塚専務理事、宮本理事を議事録確認者とし、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第0号議案)前回理事会議事録承認

2021年度第2回臨時理事会及び第2回定時理事会の議事録案について、メール回覧済であるとの事務方の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項)2021年度第2回臨時理事会・第2回定時理事会(2021年6月22日開催)議事録案

第1号議案)東京2020パラリンピック競技大会トライアスロン競技日本代表選手団案

標題について、代表選手選考委員会を代表して大塚専務理事が選考・答申内容を報

告した。富川理事、事務方からの追加説明、質疑応答の後、その賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。なお、富川理事、菊池理事、佐藤理事は利害関係者として本議案の審議及び決議には参加しなかった。

・承認事項 1) 選考基準の評価期間の修正

説明骨子) IF の選考基準の評価期間が確定したことに伴い、対象期間の記述を「2019年6月28日(金)～2021年6月28日まで」に修正する。

・承認事項 2) 東京 2020 パラリンピック競技大会トライアスロン競技代表候補選手  
女子: 秦由加子 PTS2、谷真海 PTS5 混合クラス、土田和歌子 PTWC

男子: 木村潤平 PTWC、宇田秀生 PTS4 混合クラス、米岡聡 PTVI

補足説明) 土田選手はバイパルタイト推薦枠から、他の5選手は東京パラリンピッククオリフィケーションランキングによる IF 出場基準に基づき選出。

・承認事項 3) ロールダウンによるバイパルタイト推薦対象選手の代表承認

説明骨子) 7月19日にロールダウンによってバイパルタイト推薦対象となった選手については、改めて理事会で審議することなく代表選手として承認する。

・推薦対象選手) 円尾敦子 PTVI、佐藤圭一 PTS5、梶鉄輝 PTS5

・承認事項 4) 日本選手団役員(7月8日時点)

公式役員 2名) 富川理充、菊地日出子。ハンドラー 2名) 大岩葵、陶山昌宏

補足説明) 東京 2020 パラリンピック競技大会 スタッフ選考基準及び同大会アクレディテーション申請候補選考基準に基づき推薦。PTVI の米岡選手のガイドとして椿浩平ガイドを推薦し、アクレディテーションの手続きを行う。役員体制は JPC が指定する役員数に応じて追加変更を行う場合がある。

補足事項) 利害関係者について意見があり、今後は、議案ごとに議案不参加理事を確定することとする。

第 2 号議案) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 選手報奨金 案

標題について、スポーツ庁の報奨金に関わる方針を含む説明が、大塚専務理事及び事務方からあり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。なお、本提案はリオ 2016 大会時と同様の金額設定であり、コーチ・スタッフに対する報奨金等は、競技会の結果により別途提案することが付記された。

・承認事項) オリンピック個人種目報奨金: 金メダル: 300 万円、銀メダル: 200 万円、銅メダル: 100 万円

オリンピックリレー種目報奨金: 金メダル: 300 万円(1名 75 万)、銀メダル: 200 万円(1名 50 万)、銅メダル: 100 万円(1名 25 万)

パラリンピック報奨金: 金メダル: 300 万円、銀メダル: 200 万円、銅メダル: 100 万円  
(なお、PTVI 選手がメダルを獲得した場合は、ガイドと二人でメダルを獲得したと解釈し、報奨金の増額は行わない。)

### 第 3 号議案)2021 年度各日本トライアスロン選手権の実施と方針

標題について事務方から説明があり、質疑応答の後、年代別日本選手権の実施案について議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。なお、エリート日本選手権の開催時期・場所は、継続審議とする。今後、早急に、アスリート委員会、コーチ委員会等の意見を参照し、運営面をクリアできる実施案を提出する。

・承認事項)年代別日本選手権開催の方針

高校生トライアスロン選手権:2021 年 9 月 12 日(栃木県那須塩原:国体予定会場)

U15 日本選手権/U19 日本選手権:2021 年 9 月 19 日(岐阜県長良川での同日開催)

備考)U23 日本選手権:エリート日本選手権と同日開催(前回理事会で承認済み)

#### <主要意見>

- ・強化としては、日本選手権の 10 月宮崎開催、ワールドトライアスロンカップ宮崎大会の 2022 年 3 月延期開催を希望するが、3 月の気象状況に不確定要素がある。
- ・日本選手権は次のシーズンの契約に向けてアピールの場となるため、年度末ではなく 2021 年中の開催を希望する声がアスリートから聞かれた。3 月のお台場開催が可能であれば、スーパースプリント形式でお台場のレガシーをつなげてほしい。
- ・選手の間では、例年通りのスタンダード形式の日本選手権を希望する声があった。なかなか出場機会がないパラトライアスロンのレースの開催もお願いしたい。
- ・日本選手権は是非開催すべきで、次期は 10 月～11 月が望ましい。

### 第 4 号議案)JTU 顧問・参与等の推薦案

標題について岩城会長から提案があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項)2021～2022 年度 JTU 顧問・参与(候補案)

従来の JTU 顧問・参与に加え、國分孝雄前副会長を 2015 年～2017 年まで会長職を務めた功績を考慮の上、JTU 名誉副会長に、森崎俊紘前副会長を JTU 顧問とする。

さらに、加納修二前理事:九州ブロック、小林洋前理事:北信越ブロック、吉田隆雄前理事:東海ブロックを JTU 参与とする。

## 5. 報告事項

### 1)通報相談窓口事象

国民スポーツ大会の選考選抜について異議を申し立てる相談が入ったほか、まだ通報相談窓口案件にはなっていないが、強化指定選手からコーチに関する相談があっ

た。

2)JTUブロック、専門委員会等の会議

- ・専門委員長・リーダー会議を2021年7月13日(火)にオンラインで開催。
- ・ブロック理事会を2021年7月14日(水)にオンラインで開催。

[5]次回定時理事会 2021年9月8日開催予定

[6]閉会宣言

仲井筆頭副会長が議案終了後の報告途中での退席となったため、中山常務理事がねぎらいの言葉を述べた後、本日の臨時理事会すべてが終了したことが告げられ、14時56分に閉会した。

議事録署名と確認:

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2021年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2021年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2021年 月 日

(宮本悦子・理事) (印) 2021年 月 日

=以上=